

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1770号	氏名	於久 幸治
論文審査担当者		主査教授	江石清行
		副査教授	相川忠臣
		副査教授	澄川耕二
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、僧帽弁弁口面積測定における PISA 法の有用性を僧帽弁狭窄症の患者で明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 僧帽弁狭窄症の患者 30 名で、僧帽弁弁口面積を PISA 法とトレース法、Pressure Half-Time 法と比較し、その相関を検討したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、3つの方法にいずれも良好な相関が確認され、僧帽弁狭窄症患者の僧帽弁弁口面積測定における PISA 法の有用性が証明された。</p>			
<p>以上のように本論文は僧帽弁狭窄症患者の重症度評価における超音波検査法の発展に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			